

世界の文化で遊んで学ぼう！ 出前授業プログラム

.....
2010

活動報告



財団法人千里文化財団

趣 旨

千里文化財団は、世界のさまざまな民族や文化について研究する文化人類学・民族学の研究センター、国立民族学博物館（通称「みんぱく」）と市民をむすぶ架け橋として、みんぱくに蓄積された資産（人・モノ・情報）を活用したさまざまな事業をおこなっている。2007年度からスタートした風呂敷を活用した出前授業も、もともとは「世界大風呂敷展」という世界の包み布文化を紹介する展示に関連しておこなったプログラムに手を加え、小中学校などの授業に取り入れやすい形にアレンジしたものである。風呂敷の出前授業は、小中学校の授業や放課後教室、公民館、PTA活動をはじめとした地域の学びの場など、さまざまな場所で活用されてきた。こうした活動をおこなう中で、風呂敷以外のプログラムを求める要望も寄せられ、今年度はブーメラン作りやワタリガラスのお面作りなど世界各地の文化を体験しながら学ぶ出前プログラムもあらたに追加した。

風呂敷の体験講座は、日本の伝統文化にふれること、環境に配慮したライフスタイルについて考えることを目的として実施してきたが、プログラムの追加にあたっては、世界の伝統文化や生活から子どもたちが動植物や自然とのつきあい方の多様性について考えること、生活環境にあわせて工夫して生きてきた先人の知恵を学ぶことを念頭においてプログラムを開発した。

出前授業の実施にあたっては下記の点に留意しながらおこなった。一つめは子どもたちがクラフトや体験をとおして楽しみながら世界の諸文化にふれ、世界への関心をひろげられるようにすること。二つめは保護者や教員、地域の教育に関わる方々が、世界の諸文化から学ぶプログラムを考えたり、子どもたちとの日常の会話にかかれてもらえるように情報提供やアドバイスをおこなうことである。

小林万里絵、田中千尋、吉田瑛美（財団法人千里文化財団）

本報告書は2010年4月～2011年3月にかけて、日本財団ならびにパナソニック株式会社の助成をうけて実施した活動をまとめたものである。

世界の文化で遊んで学ぼう！ 出前授業プログラム 2010 活動報告

1-1 実施概要	_____	p. 3
1-2 実施一覧	_____	p. 4
2. プログラム紹介と利用状況		
2-1 風呂敷をつかってみよう	_____	p. 5
2-2 ブーメランをつくってとばそう	_____	p. 6
2-3 ワタリガラスのお面を作ろう	_____	p. 7
2-4 雪の家「イグルー」のひみつ	_____	p. 8
2-5 イヌイットのけん玉「アイヤガック」を作ろう	_____	p. 9
2-6 めでたい紋様大集合！	_____	p. 10
2-7 毛糸を作ろう	_____	p. 11

1-1 実施概要

今年度は従来の風呂敷の出前授業の他に、世界各地の文化を体験しながら学ぶプログラムを追加した。プログラム概要等を掲載した案内パンフレットを作成し、近隣の学校やPTA、公民館など生涯学習のための施設などに配付し、利用希望を募った。小・中学校の授業や放課後教室、児童館や保育所、子ども会活動、PTA活動、公民館などの生涯学習（大人を対象としたもの、親子対象のもの）などから問い合わせがあった。問い合わせは、募集パンフレットを見た方の他にブログ（Canpan）や知り合いの紹介などのケースがあった。その中から最終的に生徒・児童を対象としたプログラム13件、大人を対象とした講座4件、親子体験教室6件を実施した。（詳細は「1-2 実施一覧」を参照）

今年度追加したプログラムは、これまでに千里文化財団が夏休みなどに子ども向けのワークショップとしておこなってきたものをもとに、材料や内容などを見直し、学校や放課後教室などで利用しやすい形で再構成したものである。（詳細は「2. プログラム紹介と利用状況」の各プログラムのページを参照）本報告書で紹介したプログラムのほかに、「パンダナスの葉のコースターを作ろう」「海の地図、スティック・チャートを作ろう」の2つのプログラムについても募集をおこなったが、今年度は申込がなかったのでここでは扱っていない。

受講者の感想は、「2. プログラム紹介と利用状況」で、それぞれのプログラムごとに掲載しているが、子どもたちがさまざまな発見をしている様子や、日本や世界の伝統文化に関心をひろげている様子が見え、また、保護者や地域指導者、教員などの感想でも、さまざまな文化における考え方、生活の多様性に気づいたという声や、子どもたちにも伝えてゆきたいという声寄せられた。



案内パンフレット



1-2 実施一覧

2010 年度 出前授業実施一覧 (2010 年 4 月～2011 年 3 月)

日にち	学校・施設名	対象	参加人数	内容
5/17 (月)	磐手学び舎ネット	一般	27	風呂敷をつかってみよう
6/8 (火)	尼崎市立園和小学校	6 年生	80	風呂敷をつかってみよう、日本とカナダの家の紋 (図工)
6/9 (水)	尼崎市立園和小学校	6 年生	80	風呂敷をつかってみよう、日本とカナダの家の紋 (図工)
7/14 (水)	茨木市立中条小学校	4 年生	164	風呂敷をつかってみよう (環境)
7/17 (土)	京都駅ビルシネマ	親子	15	ワタリガラスのお面をつくろう
8/1 (日)	国立民族学博物館	親子	49	雪の家「イグルー」のひみつ、イヌイットのけん玉「アイヤック」を作ろう
8/8 (日)	国立民族学博物館	親子	42	ワタリガラスのお面をつくろう
8/24 (火)	摂津市立味生公民館	一般	10	風呂敷をつかってみよう
8/27 (金)	吹一地区公民館	親子	17	風呂敷をつかってみよう
10/26 (火)	茨木市立彩都西小学校	3 年生	169	風呂敷をつかってみよう (昔の道具)
11/11 (木)	ノートルダム学院小学校	1 年生	148	風呂敷をつかってみよう (伝統文化)
11/16 (火)	向日市立向陽小学校	1 年生	85	ワタリガラスのお面をつくろう
11/29 (月)	池田市立石橋小学校	5 年生	85	ブーメランをつくってとばそう (図工)
12/2 (木)	吹田市立岸辺第 1 小学校	1 年生	55	雪の家「イグルー」のひみつ (生活科)
12/11 (土)	草津市立まちづくりセンター	一般	40	めでたい紋様大集合!
1/13 (木)	向日市立第 5 向陽小学校	2 年生	40	めでたい紋様大集合!
1/16 (日)	和歌山県湯浅保健所	一般	12	風呂敷をつかってみよう
1/20 (木)	向日市立第 5 向陽小学校	2 年生	40	ワタリガラスのお面をつくろう
1/22 (土)	高槻市立赤大路小学校	親子 (PTA 行事)	80	ブーメランをつくってとばそう
1/27 (木)	向日市立第 5 向陽小学校	2 年生	41	ブーメランをつくってとばそう
2/16 (水)	長岡京市立長岡第十小学校	小学生、教員、地域指導者、保護者	28	風呂敷をつかってみよう
2/24 (木)	向日市立第 2 向陽小学校	2 年生	97	ワタリガラスのお面をつくろう、ブーメランをつくってとばそう、毛糸を作ろう
2/27 (日)	吹田市立第三小学校地区公民館	親子 (PTA 行事)	10	雪の家「イグルー」のひみつ

合計 1414 人

2. プログラム紹介と利用状況

2-1 風呂敷を使ってみよう

①プログラムの趣旨

風呂敷でものを包む体験をとおして、「環境」や「日本の伝統文化」を学ぶことを目標に開発したプログラム。世界各地に包み布があることを学び「異文化理解」へとつなげることも可能である。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) 風呂敷って何だろう？	風呂敷で包まれたものの中身を当てるクイズをとおして、物の形に合わせて包むことができることやかつて物を包んで運ぶ道具として使われてきたことを学ばせる。	唐草模様の風呂敷 風呂敷で包んだもの (重箱・果物模型・ボール・ペットボトルなど) 風呂敷
結び方の練習	基本の結びである真結びを練習する。	
(展開) 風呂敷で包んでみよう	ボール、ペットボトルの包み方を練習する。	風呂敷 包む物 (ボール、ペットボトル)
風呂敷を利用する (環境問題と風呂敷)	風呂敷エコバッグの作り方の指導をとおして、レジ袋や梱包材等のゴミの削減や、繰り返し使える風呂敷の良さを学ばせる。	
工夫して包んでみよう	風呂敷で様々な物を包ませる。 子どもたちそれぞれが考えた包み方を発表させる。	教室にあるもの (教科書など)
(まとめ) 世界の包み布	日本以外の国にも同じような布の使用例があることを紹介する。	世界の包み布パネル 布、包まれるもの (人形) テキスト
現代における風呂敷	風呂敷で物をつつんでみた感想等を子ども達に聞きながら、風呂敷が現在見直されてきていることを再確認する。	

②利用状況

<利用者>

小学校1～6年 (授業と放課後教室)、PTAや公民館の講座、保健所の講座 (外国人の母親の子育て支援事業)。子どもから大人まで幅広い年齢層、さまざまな趣旨の講座で利用された。

<授業のテーマ>日本の伝統文化 (総合学習ほか)、昔の道具 (3年社会)、環境 (4年社会ほか)

<受講者の感想>

- ・おかいものでつかおうとおもった。(小学1年女子)
- ・日本だけがふるしきをつかっていると思ったら、世界でも使うと聞き、とてもびっくりした。買い物や旅行のときにふるしきを入れていこうと思う。それから家でもほかになにか使えないか考えてみたいです。(小学6年女子)
- ・かいものでつかえることをお母さんにいいます。(小学4年男子)
- ・参加されたみなさんも風呂敷のいろいろな使い方がわかったと大変好評でした。(主催者)
- ・リュックサックや帽子など、行事がある時に使ってみたいです。(保護者)
- ・保護者の方々からも風呂敷を見直す声を頂戴しました。家庭では、風呂敷を祖父母宅まで探しに行く児童もいました。(小学校教員)



テキスト

2-2 ブーメランをつくってとばそう

①プログラムの趣旨

オーストラリア先住民（アボリジニ）の狩猟道具であるブーメランをとりあげ、日本とは気候や自然環境などが大きく異なる環境でくらす人びとの生活や文化にふれることを目標として開発したプログラム。ペーパークラフトのブーメランをとばす体験や神話の紹介、アボリジナル・アートの鑑賞を組み合わせ構成している。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) ブーメランって何だろう？ アボリジニの文化を学ぼう	さまざまな形のブーメランを紹介し、ブーメランがアボリジニの狩りの道具や楽器などとして使用されてきたことを学ばせる。 アボリジナル・アートに描かれる神話などを紹介しながら、彼らのふだんの生活の様子や動物との関わりなどをととして、オーストラリアの風土やアボリジニの生活、文化について考えさせる。	ブーメラン 地球儀 ブーメランの写真パネル 神話「星になった7人姉妹」砂絵モチーフを紹介するパネル
(展開) ブーメランをつくろう ブーメランをとばそう	厚紙を切り抜き、ブーメランを組み立てる。 アボリジナル・アートで用いられるシンボルマークを参考にしながら各自が物語を考え、ブーメランに絵付けをする。 ブーメランをとばす。調整の仕方や投げ方を工夫させる。	両面テープ、ハサミ 筆記用具、厚紙、型紙 絵の具、筆 綿棒、木の枝等
(まとめ)	感想を発表しながら、オーストラリアの環境や文化について学んだことを確認する。	

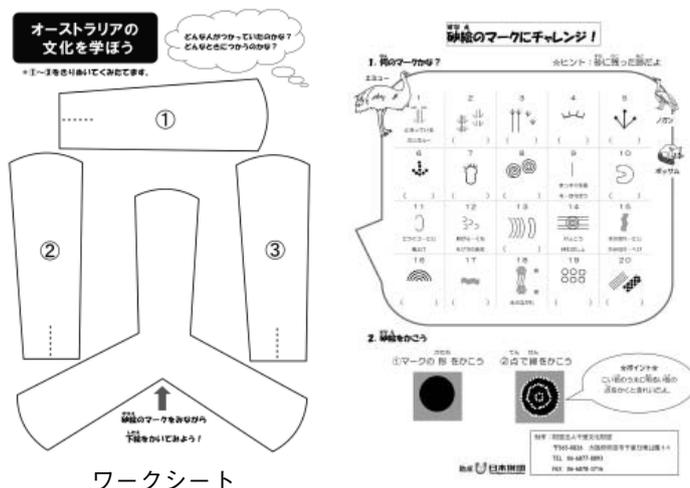
②利用状況

<利用者>

小学校1～6年生（授業と放課後教室）、PTA親子教室。絵付けをしたブーメランやオーストラリアについて学んだ成果を作品展で発表した学校もあった。

<受講者の感想>

- ・オーストラリアで、（ブーメランを）鳥にちょくせつあてて、おとすのじゃなくて大きなとりがきたとおもわせて鳥をつかまえるなんてかっこいいなーとおもいました。（小学2年男子）
- ・遠くに飛んでおもしろかったです。今度は家で作って遊びたいです。（小学2年男子）
- ・もっととばしたい ブーメランはすごい（小学2年男子）
- ・ブーメランは獲物に投げつけて落とす狩猟道具と思っていました。アボリジニの砂絵も一つ一つに意味があり、模様を組合せると絵全体が物語になるなど、人々の知恵や感性の深さに感心しました。今まで耳にしたことのない話を、低学年の子ども達に分かりやすく、楽しく教えていただき、勉強になりました。（主催者）



2-3 ワタリガラスのお面を作ろう

①プログラムの趣旨

さまざまな動物が登場するカナダ先住民の神話や昔話から、動物や自然と深く関わってきた彼らの生活や文化にふれることを目的として開発したプログラム。動物との関わり方やとらえ方の多様性を感じられるように、神話の読み聞かせとアートの鑑賞、ぬり絵を組み合わせた体験内容とした。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) カナダ先住民と動物の 関係を知ろう	さまざまな動物が登場するトーテムポール（写真）の鑑賞をとおして、カナダ先住民の動物や自然との関係や彼らがくらす環境について紹介する。 カナダ先住民に伝わる創世神話「光を放ったワタリガラス」を読み聞かせる。不思議な物語を味わいながら、カラスがどのような存在として描かれているかを考えさせる。	写真パネル 神話「光を放ったワタリガラス」
(展開) ワタリガラスのお面を 作ろう	カナダ先住民がお祭りで使用するワタリガラスの仮面をモチーフにしたペーパークラフトのお面を作る。	ペーパークラフトキット ビニールテープ（フリンジ用） はさみ・セロハンテープ 輪ゴム・クーピー
(まとめ) 他の国ではどうだろ う？	感想を発表しながら、カラスの描かれ方や役割などを再確認する。自分たちのカラスのとらえ方との相違や、さらにほかの文化ではどのようにとらえられているのかなどにも関心をもたせる。	

②利用状況

<利用者>

小学校1～6年（図工の授業と放課後教室）、親子教室。おもに小学校低学年の放課後教室で利用されたが、小学校6年生の図工の授業では担当教諭と相談し、動物のモチーフが家の紋章となっていることも紹介して日本の家紋との比較も試みた。

<受講者の感想>

- ・さいしょにお話をしてもらったとき、ワタリガラスわるいやつ？とおもったけど、たいようをとどけてくれたので、とてもかんしゃしています。(小学2年男子)
- ・ワタリガラスのせつめいの紙をお母さんにみせてあげたらやさしいカラスやな～と言って二人で読んでいました。(小学2年女子)
- ・カラスはあまりよいイメージをもっていなかったが、いろんなとらえかたがあったり、お話もいろいろあることがわかっておもしろかった。(保護者)



ワタリガラスのお面を作ろう2

写真パネル「ワタリガラスのお面を作ろう2」
制作：日本文化センター
制作：日本文化センター
制作：日本文化センター

ワタリガラスのお面を作ろう2
制作：日本文化センター
制作：日本文化センター
制作：日本文化センター

制作：日本文化センター
TEL: 06-6777-0893
FAX: 06-6777-0716
制作：日本文化センター

ワークシート

2-4 雪の家「イグルー」のひみつ

①プログラムの趣旨

厳しい自然環境の中で身の回りにあるものをうまく利用してきた人びとの知恵や工夫にふれることを目標としてプログラムを開発した。模型の組み立てのほかに博物館の資料（映像や衣類、生活道具など）も活用し、北極圏に生きる人びとの生活が体験的に学べるようにした。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) 北極圏にくらす人びとのくらしとは？	資料などを用いて、北極圏の生活環境、自然環境について学ぶ。	写真、毛皮の衣類など
(展開) 雪の家「イグルー」のひみつにせまる	映像を用いて、雪の家づくりやその中での生活について学ぶ。	映像資料
「イグルー」の組み立てを体験しよう	雪のブロックにみたてた材料を用いて、「イグルー」作りを体験する。日本のかまぐらりの作り方との違いなども考えさせる。	イグルー模型
(まとめ) 伝統的なくらしの知恵、工夫を学ぼう	感想を発表しながら、身のまわりにあるものをうまく活用し、少エネルギーでくらす知恵や工夫に気づかせる。	

②利用状況

<利用者>

小学校1年生（生活科の授業）、親子ワークショップ、PTA活動。

<受講者の感想>

- ・ イグルーを組み立てるのがおもしろかった。(小学2年男子)
- ・ イグルーを作るのは大変だと思った。(小学5年女子)
- ・ イグルーをほんとうの雪でつくってみたい。(小学3年女子)
- ・ 映像でみたら簡単そうだったのですが、小さいイグルーでも50以上のパーツにわかれていて驚きです。(保護者)
- ・ 窓に氷をはめこんだり、部屋の中に冷たい空気はいらないように工夫してありすごいなあと思った。(保護者)



2-5 イヌイットのけん玉「アイヤガック」を作ろう

①プログラムの趣旨

厳しい自然環境の中で身の回りにあるものをうまく利用してきた人びとの暮らしから、現代日本の生活についてあらためて考えることを目標としてプログラムを開発した。博物館の資料（衣類、生活道具など）も活用し、北極圏に生きる人びとの生活が体験的に学べるようにした。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) 北極圏にらす人びとのくらしとは？	写真や資料などを用いて、北極圏の生活環境、自然環境について学ぶ。 クイズや資料の観察、衣類の試着などとおして厳しい自然環境であることを体験的に学ばせる。	写真、毛皮の衣類など
(展開) イヌイットのけん玉「アイヤガック」(模型)を作ってみよう	動物の骨を利用してつくられたイヌイットのけん玉「アイヤガック」のかたちやあそび方などを学ぶ。 狩猟民として必要な知識をあそびをとおして学んでいることを理解させる。 粘土でアイヤガックを模したけん玉を作る。	イヌイットのけん玉「アイヤガック」、世界のけん玉、写真など <材料> 粘土、たこ糸、棒
(まとめ) イヌイットの伝統的な生活から考えよう	感想を発表しながら、自然環境をうまく利用して生きてきた人びとの生活の知恵や、あそびの意味について考える。	

②利用状況

<利用者>

親子ワークショップ

<受講者の感想>

- ・世界中にいろんなけん玉があるのがわかった。技もすごかった。(小学3年女子)
- ・いろんな材料でつくれるし、かたちもいろいろあることがわかった。(小学5年女子)
- ・ほねでできているけんだまがあるなんてしらなかった。(小学2年男子)



2-8 めでたい紋様大集合！

①プログラムの趣旨

伝統的なデザインが持つ美しさに触れるとともに、紋様に込められた人びとの願いを知り、昔のくらしや生きることへの感謝の気持ちを学ぶことを目標に開発したプログラム。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) なんの紋かな？	鶴や亀、松竹梅などの吉祥紋をとりあげ、紋には長寿や豊作などの願いが込められていることを紹介する。 紋にこめられた願いなどから、昔の人びとのくらしについて考えさせる。日本人は昔から病気や災いを避けるために「めでたい」ことが連想されるものを身につけてきたことを紹介する。	吉祥紋パネル
(展開) 紋切りをしよう	昔のあそび「紋切り」を体験し、伝統的なデザインがもつ美しさに触れる。 切り抜いた紋を用いて、カードなどを作成する。	かたがみ おりがみ、はさみ、のり
(まとめ) 世界の紋様 こめられた願いを考えよう	各国の生活の中で用いられている紋様を観察し、その背景にあるくらしやそこに込められている願いを考えさせる。また、同じ動物や植物でも文化によって受け止め方が異なることも認識させる。 紋様にはそれを使う人の願いや思いが込められていることを確認する。	写真パネル

②利用状況

<利用者>

小学校2年生（放課後教室）、公民館の講座（外国人のための日本文化講座）

<受講者の感想>

- ・ ひらけると想像していなかったもようができてびっくりした。（小学2年女子）
- ・ 身の回りでみかける紋の意味を改めて知ることが出来てよかった。（一般男性）
- ・ とても簡単で綺麗に出来る。家に帰ったら子どもと一緒に遊べます。（保護者）



2-9 毛糸をつくろう

①プログラムの趣旨

羊毛を紡ぐ体験から、糸を作るためには多くの行程があることを学び、ものを大切にする心を育むために開発したプログラム。体験の他にもさまざまな世界の紡ぎ道具を紹介し、素材や環境にあわせて道具がどのように工夫され使われているかを知る。

<指導案>

指導方法	指導内容	資料など
(導入) 毛糸ってどうやって作るの？	羊の毛刈りの様子を映像などとおして観察する。羊からとれた原毛の状態に近い羊毛と洗浄済で紡げる状態の羊毛を比較させるなど、原毛が毛糸になるまでには多くの過程があることを学ばせる。	毛刈り DVD ハンドカーダー 原毛
(展開) 毛糸を紡いでみよう	コマのような糸紡ぎの道具、スピンドル（紡錘車）を使用し、羊毛を紡ぐ。 撚りをかけ紡ぐことで、原毛は切れにくく強い毛糸になることを体験的に学ばせる。	スピンドル 原毛
(まとめ) 世界の糸紡ぎ道具をみてみよう	さまざまな国の糸紡ぎ道具を紹介。 生活環境や、素材、できあがった糸の使用目的などに合わせて道具が工夫されていることなど、先人の知恵や工夫の上に自分たちの生活があることを認識させる。 また、毛糸を作るまでのさまざまな過程を知ること、ものを大切にするをあらためて考えさせる。	各国の糸紡ぎの写真 いろいろな形のスピンドル（5種）

②利用状況

<利用者>

小学校2年生（放課後教室）

<受講者の感想>

- ・糸つむぎはとってもおもしろくて学校がおわってはいってかえって、おはしでつづけています。あめたらおばあちゃんにリストバンドをあげるよていです。(小学2年女子)
- ・羊の毛をはじめにさわってもらいました。によいだらちよとくさかってさわったらちよとねちよねちよしてました。<中略>はじめスピンドルをまわすときにすごくふとくなりました。ふとさをかえたらすごくふとくなりました。ふとさをちょうせつするのはむずかしいんだなと思いました。<中略>なかなかできないことができてすごくうれしかったです。(小学2年女子)



発 行 日 2011年3月31日

編集・発行 財団法人千里文化財団

〒565-0826 吹田市千里万博公園 1-1

TEL : 06-6877-8893 FAX : 06-6878-3716

e-mail : demae@senir-f.or.jp